

宝塚警察署長の

# 宝塚探訪

～つれづれなるままに… No.1～



みなさん、こんにちは。宝塚警察署長の石井です。

今年は寒の戻りの影響で、桜の満開も4月上旬に迎えたことから、桜満開の入学式だったのではないのでしょうか。

また、入学シーズンに併せて実施されました

春の全国交通安全運動

につきましても、皆さんの高い交通マナーのおかげで無事に終了しました。

宝塚警察署長として赴任し、早いもので1か月を迎えようとしています。

せっかく宝塚市民になったのですから、宝塚市内を趣味のランニングと御朱印集めを兼ねて散策をして行こうと思っています。

第1回目は、管内散策を兼ねてランニングをしながら

清荒神清澄寺

大本山中山寺

の2か所を訪ねることとしました。

まず最初に向かったのは“清荒神清澄寺”です。

阪急電車清荒神駅から北へ行き、清荒神への参道と思われるレトロで昔懐かしい参道商店街の緩やかな坂道を登っていきますと、進むにつれ厳かな空気感が肌に伝わって来て心身ともに清められているような感覚の中ランニングをしておりますと山門が目に入ってきました。

清荒神清澄寺は、一般的に  
荒神さん

と呼ばれ親しまれています。

清荒神は、平安時代の初めに平和な社会の実現と、万民豊楽の世を開く勅願寺として創建され、数々の戦火を経て現代に至っており、今では「かまどの神」「火の神」として全国的に名を馳せているお寺で、境内には様々な火箸が奉納されているようです。



山門をくぐりますと、樹齢約500年と推定されている大銀杏、真正面に本堂があり、少し中へ入りますと左手に拝殿が見えてきます。



拝殿（天堂）には、福德を授ける諸神諸仏が祀られており、ここで祈りをすれば、ご利益を得ることができると言われていたようです。また本堂には、正面には本尊大日如来、向かって左に不動明王、右に弘法大師が祀られているとのことでした。御朱印も、ここ本堂受付で頂けるとのことでした。（つづく）